

◆ 今週のコメント

- ・ 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(女性, 10歳未満)で, 型別はO157(VT2)です。本年の累積報告数は27例となっています。詳細は下記ホームページをご覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 80歳代)あります。平成25年4月1日に五類感染症に追加されて以降, 昨年は15例の報告があり, 本年の累積報告数はすでに30例にのぼっています。5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症しており, 年間を通じて注意が必要な疾患のため, ワクチンによる予防が重要となります。なお, 平成26年10月1日から, 高齢者を対象とした肺炎球菌ワクチンが定期接種となりました。詳細は下記ホームページをご覧ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期的予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

◆ 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は4.15(170例)で, 2週連続で増加するとともに, 過去5年平均値を上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 27例】
- ・ 四類: レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 11例】
- ・ 五類: カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例(第39週追加)【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 30例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

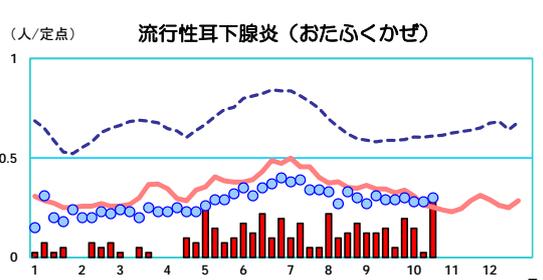
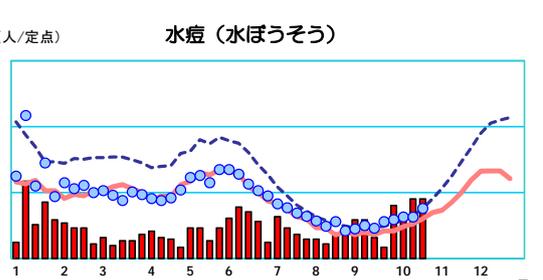
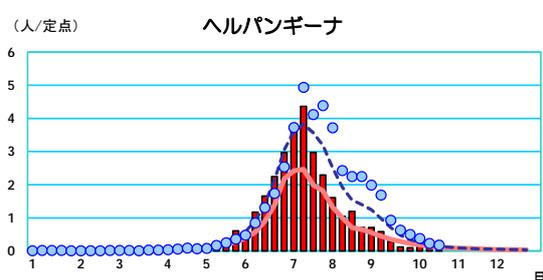
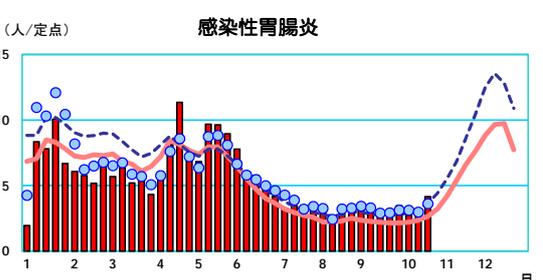
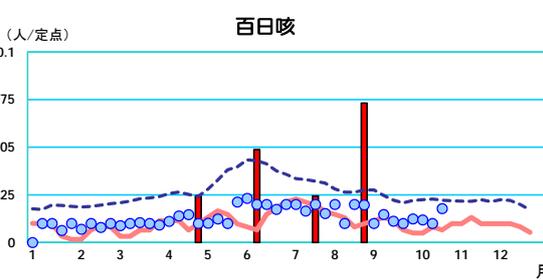
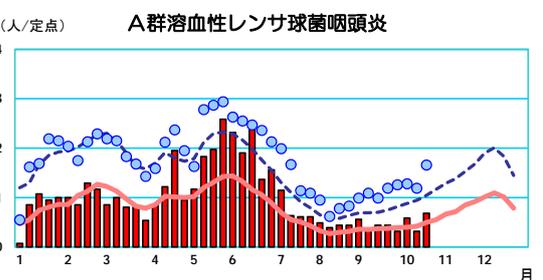
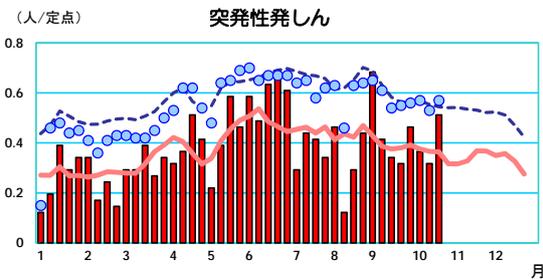
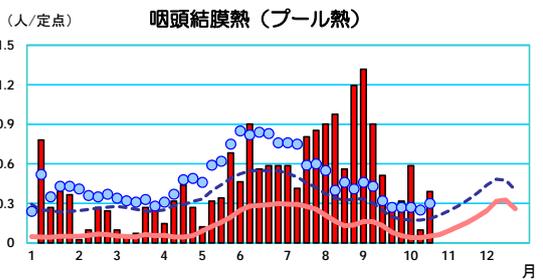
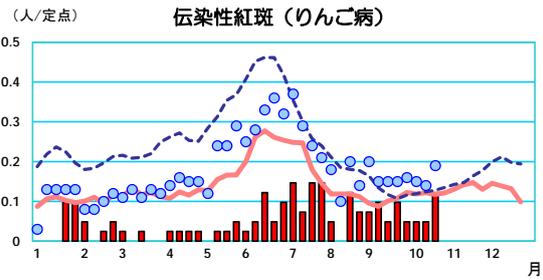
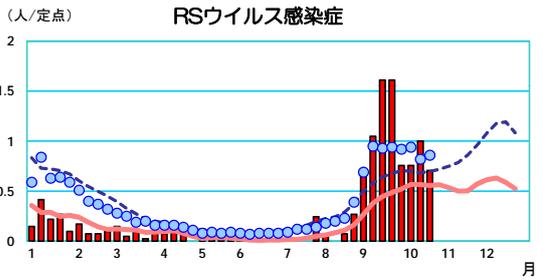
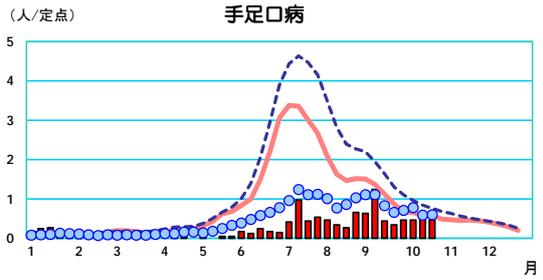
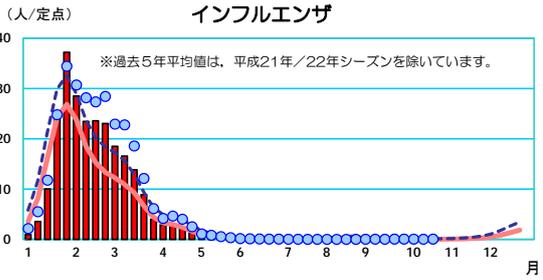
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.15	170
	② 水痘	0.90	37
	③ RSウイルス感染症	0.71	29
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.68	28
	⑤ 突発性発しん	0.51	21
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <感染性胃腸炎>

(注) 京都市のデータは, 平成26年10月30日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



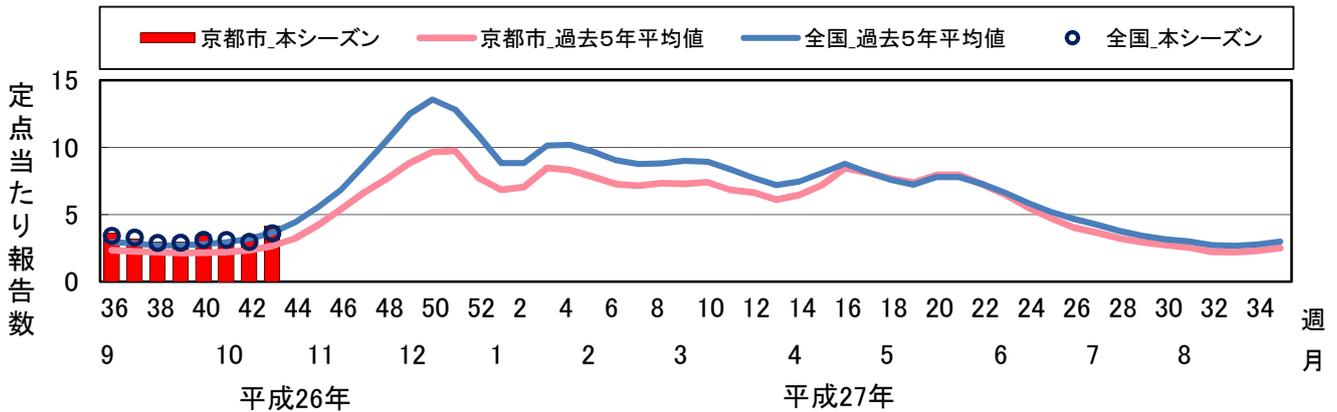
第43週(10月20日～10月26日)トピックス: <感染性胃腸炎>

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は4.15(170例)で、2週連続で増加するとともに、過去5年平均値を上回っています。全国では、41都道府県で前週より増加しています。

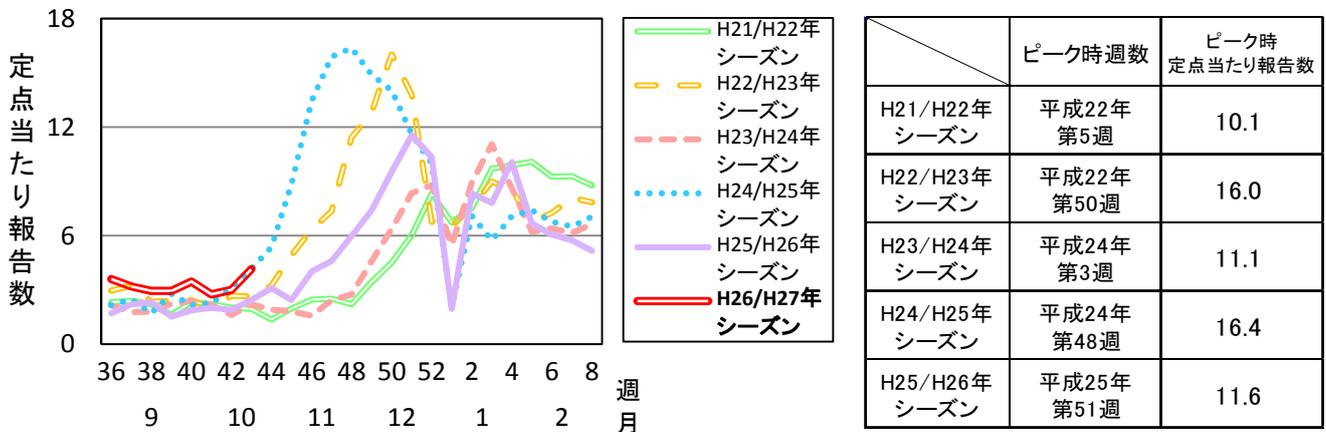
例年、ノロウイルス感染を原因とする感染性胃腸炎がこの時期から増加し、11月～12月にピークを形成します。本年は、過去5シーズンで最も流行したH24/H25年シーズンと同様に定点当たり報告数の増加が早く、今後も患者数が急激に増加するおそれがありますので、発生動向に御注意下さい。

ノロウイルスは非常に感染力の強いウイルスで、手指や食品などを介した経口感染により、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄り等では重症化することがあります。手洗い、うがいの励行、十分な睡眠と栄養をとるようにして、体調を良好に保つようして下さい。家族等に患者が発生した場合は、汚物の処理やトイレ等は塩素系消毒剤で消毒を行い、患者との不必要な接触はできるだけ避けましょう。また、万一、感染を疑うような症状があれば早めに医療機関へ受診しましょう。

本市及び全国の定点当たり報告数の推移



過去5シーズンの流行状況



都道府県別定点当たり報告数の推移

